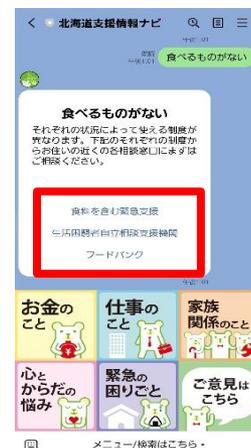
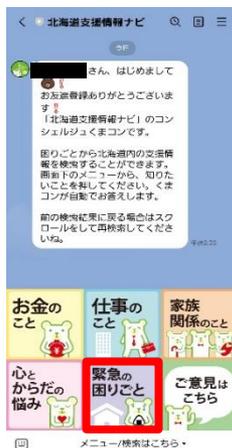




通信アプリLINEを活用し、生活・家族関係・心と体の悩みなどの困り事に対する、道内の相談窓口を紹介する「北海道支援情報ナビ」を運営するコミュニティワーク研究実践センターと事業連携。

<北海道支援情報ナビについて>

- ・令和3年12月に、コミュニティワーク研究実践センターが開発（同法人は生活困窮者支援や支援に携わる団体に対する中間支援などを実施）。
- ・下記QRコードでLINEに友だち登録することで利用可能。
- ・金銭面や家族関係、心身の悩みなど5種類の「困りごと」を選び、質問に回答すると、状況に応じた相談窓口が表示される。
- ・これまでは、道や市町村の支援制度や行政の相談窓口を中心に掲載しており、道との連携により、登録を希望する民間団体を募集し、支援情報の充実を図る。



<連携の概要>

<道の役割>

- ・道の支援制度や相談窓口を積極的に登録
- ・市町村や社協等の協力のもと、民間団体に登録の呼びかけ
- ・本取組に係る広報活動

<コミュニティワーク>

- ・北海道支援情報ナビの運営・管理。支援情報の更なる充実。
- ⇒ **様々な困難や課題を抱える方々への支援情報の更なる充実に向け、相互に協力**

【今後の予定】

2月以降、登録を希望する民間団体を募集し、活動実態を確認の上、順次、登録予定

<連携の効果>

<道民>

- ・自身の状況に応じた支援制度や相談先を手軽に探せるようになる。
- ・道との連携により、安心して北海道支援情報ナビを利用できる。

<北海道>

- ・幅広い世代の道民への制度や相談窓口を周知できる。
- ・支援団体に対する助成制度などの情報発信が可能となる。
- ・情報発信ツールの開発や運営管理に関する技術共有等ができる。

<コミュニティワーク研究実践センター>

- ・民間団体等の支援情報の充実による新規・継続利用の促進。
- ・道との連携による利用者や支援団体からの信頼獲得。